

2004 第一回会社訪問

6月9日 於 株名高精工所

(有)日光電機製作所 今井 琢也

私の不慣れな進行ではありましたが、最後までお付き合い頂きありがとうございました。私的には、パワフル生産をじっくり見させていただき、なかなか楽しいひと時でした。加工屋の遊園地って感じでした。

よく見れば見るほど、沢山の機械に、大量なワークがあることが、印象的でした。人数のわりに多すぎると感じる程の機械台数、夜無人に近い状態なのに稼働し続ける体制、更に設備投資しつづける意気込み、後の社長さまの、話をじっくり聞かせていただき、改めていろんな事が見えてきた様に思えました。

キセイレンを見渡す限りにおいては、ここは大量生産といっても間違いではないかと、思いました。それでもまだ、中国には、品質、技術で十分に勝てるとおっしゃっていましたので、うまくやれば、ある意味仕事はまだまだ、身近にあるものだなあと、感心させられました。しかしながら、まね出来ない設備量と生産体制ですので、みなさんも、いろいろ考えさせられたと思います。

結構柔らかい社長様ではありましたが、それでも、話の中にありました、命をかけて、スピードで物事を進めることが大事であるとおっしゃっていたのが、今日までを語る、何か訴えるものを感じました。

変革の時代でありますので、われわれも今後どう展開していくか、普段からいろんな情報を集め、即座に判断し、より安定し、成長していきたいと考えさせられました。

最後になりましたが、名高さん、この度は会場提供いただき、誠にありがとうございました。今後も、より一層仲良く、そして共に学べれば幸いです。また、同時に、キセイレンでどしどし、ご活躍して行って下さい。